

地域の実情に応じた アウトリーチ型支援の 充実に向けて

(※)

※ここでの「アウトリーチ型支援」とは、家庭教育の自主性を尊重しつつ、地域の実情に応じた多様な手法により、保護者に寄り添い届ける家庭教育支援の取組全般を指します。

コロナ禍をはじめとする社会の変化に対応した 家庭教育支援の推進について

近年、共働き家庭の増加や地域のつながりの希薄化など、家庭を取り巻く環境が変化しており、子育てに様々な悩みや不安を抱えつつ、支援が届きにくい家庭も存在し、こうした家庭に対するアウトリーチ型支援の取組が求められています。さらに、ICTの急速な普及やグローバル化の進展などに加え、今般のコロナ禍により、社会全体が大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、社会の変化に対応した家庭教育支援を推進し、地域の実情に応じたアウトリーチ型支援の充実に向けて、効果的な実施方法等を協議します。

日時
令和3年

2月18日(木)

13:30~16:30

オンライン開催

参加費
無料

●参加方法は、お申しいただいた後、改めて御連絡いたします。

参加対象者 行政関係者、民間団体、地域における関係者等

定員 300名 定員に達し次第、締切とさせていただきます。

申込方法
裏面参照

パネルディスカッション

地方自治体の事例や取組を交えながら、多様な手法によるアウトリーチ型支援について議論します。

【コーディネーター】

松田恵示 氏(国立大学法人東京学芸大学 理事・副学長)

ワークショップ

参加者を家庭教育支援に関する関心事項をもとにグループに分け、テーマについて協議していただきます。

主催 文部科学省 後援 厚生労働省

お問い合わせ 文部科学省総合教育政策局地域学習推進課家庭教育支援室

TEL 03-5253-4111 (代)

テーマ 地域の実情に応じたアウトリーチ型支援の充実に向けて

～ コロナ禍をはじめとする社会の変化に対応した家庭教育支援の推進について ～

申込方法

文部科学省ホームページにある、参加申込フォームからお申込ください。

【URL】 https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/katei/1422711_00004.htm



申込受付期間

令和2年12月10日(木)～令和3年1月29日(金)

○お申しいただいた情報は、本研究協議会以外の用途には使用しません。

○定員に達し次第、締切とさせていただきます。

プログラム

(予定)

13:30	開会
13:45 }	<p>■ パネルディスカッション</p> <p><コーディネーター> 松田 恵示 氏 (国立大学法人東京学芸大学 理事・副学長)</p>
14:50 (65分)	<p><パネリスト> 宮城県、滋賀県、掛川市 (静岡県)</p>
15:05 }	<p>■ ワークショップ</p> <p><ファシリテーター> 松田 恵示 氏 (国立大学法人東京学芸大学 理事・副学長)</p> <p><アドバイザー> 奥山 千鶴子 氏 (NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事長) 中谷 通恵 氏 (白老町家庭教育支援チーム「ぴんぼーん」コーディネーター)</p> <p>※上記のほか、パネルディスカッションでパネリストとして御参加いただく自治体関係者の方々にもアドバイザーとして御協力いただく予定です。</p>
16:25 (80分)	<p>● 5～6人程度のグループに分かれ、標記テーマについて協議します。</p> <p>※参加者の関心事項をもとに、グループ分けを行います。参加申込時に、下記の中から家庭教育支援に関する関心事項を選択してください(2つまで)。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①家庭教育への関心が低い家庭への支援 ②課題を抱える個々の家庭への支援 ③自ら相談の場にアクセスすることが困難な家庭への支援 ④子供の生活習慣の乱れに悩む家庭への支援 ⑤教育と福祉の連携による効果的な家庭教育支援 ⑥地域や学校との連携による効果的な家庭教育支援
16:30	閉会



文部科学省は、身近な地域において保護者への支援を行う家庭教育支援チームの設置やその活動を促進しています。



文部科学省は、「早寝早起朝ごはん」全国協議会と連携して「早寝早起朝ごはん」国民運動を推進しています。